

第 1 章 住宅・世帯の概況

1 - 1 総住宅数と総世帯数

総住宅数は5025万戸，増加率は9.5%

平成 10 年 10 月 1 日現在における我が国の総住宅数は 5025 万戸，総世帯数は 4436 万世帯となっている。平成 5 年の結果と比べると，総住宅数は 437 万戸(9.5%)，総世帯数は 320 万世帯(7.8%)，それぞれ増加した。また，第 1 回調査が行われた昭和 23 年の総住宅数は 1391 万戸であったので，その後の半世紀の間で約 3.6 倍に増加したことになる。

昭和 33 年以降 5 年ごとの総住宅数の増加率をみると，33～38 年は 17.6% 増，続く 38～43 年，43～48 年の増加率は 20% を超えていた。しかし，昭和 48～53 年には 14.1% 増と低下し，その後，9% 前後の増加率で推移している。

表1-1 総住宅数，総世帯数，世帯人員，1世帯当たり住宅数，1世帯当たり人員及び住宅以外で人が居住する建物数
- 全国（昭和33年～平成10年）

年 次	総住宅数 (1000戸) 1)	総世帯数 (1000世帯)	世帯人員 (1000人)	1世帯当たり 住宅数(戸)	1世帯当たり 人員(人)	住宅以外で人が 居住する建物数 (1000戸)
実 数						
昭 和 33 年 *	17,934	18,647	89,033	0.96	4.77	181
38 年 *	21,090	21,821	93,441	0.97	4.28	258
43 年 *	25,591	25,320	99,814	1.01	3.94	309
48 年	31,059	29,651	108,255	1.05	3.65	329
53 年	35,451	32,835	114,998	1.08	3.50	278
58 年	38,607	35,197	119,306	1.10	3.39	244
63 年	42,007	37,812	122,659	1.11	3.24	184
平 成 5 年	45,879	41,159	124,607	1.11	3.03	159
10 年	50,246	44,360	126,331	1.13	2.85	133
増 減 数						
昭和33～38年 *	3,156	3,174	4,408	0.00	-0.49	77
38～43年 *	4,501	3,499	6,373	0.04	-0.34	51
43～48年 *	5,219	4,097	7,455	0.04	-0.29	19
48～53年	4,392	3,184	6,743	0.03	-0.15	-52
53～58年	3,156	2,362	4,307	0.02	-0.11	-33
58～63年	3,401	2,615	3,353	0.01	-0.15	-61
63～平成5年	3,872	3,347	1,948	0.00	-0.22	-24
平成5～10年	4,367	3,200	1,725	0.02	-0.18	-26
増 減 率(%)						
昭和33～38年 *	17.6	17.0	5.0	-	-	42.5
38～43年 *	21.3	16.0	6.8	-	-	19.9
43～48年 *	20.4	16.2	7.5	-	-	6.1
48～53年	14.1	10.7	6.2	-	-	-15.8
53～58年	8.9	7.2	3.7	-	-	-11.9
58～63年	8.8	7.4	2.8	-	-	-24.9
63～平成5年	9.2	8.9	1.6	-	-	-13.2
平成5～10年	9.5	7.8	1.4	-	-	-16.4

1) 「居住世帯なし」の住宅を含む。

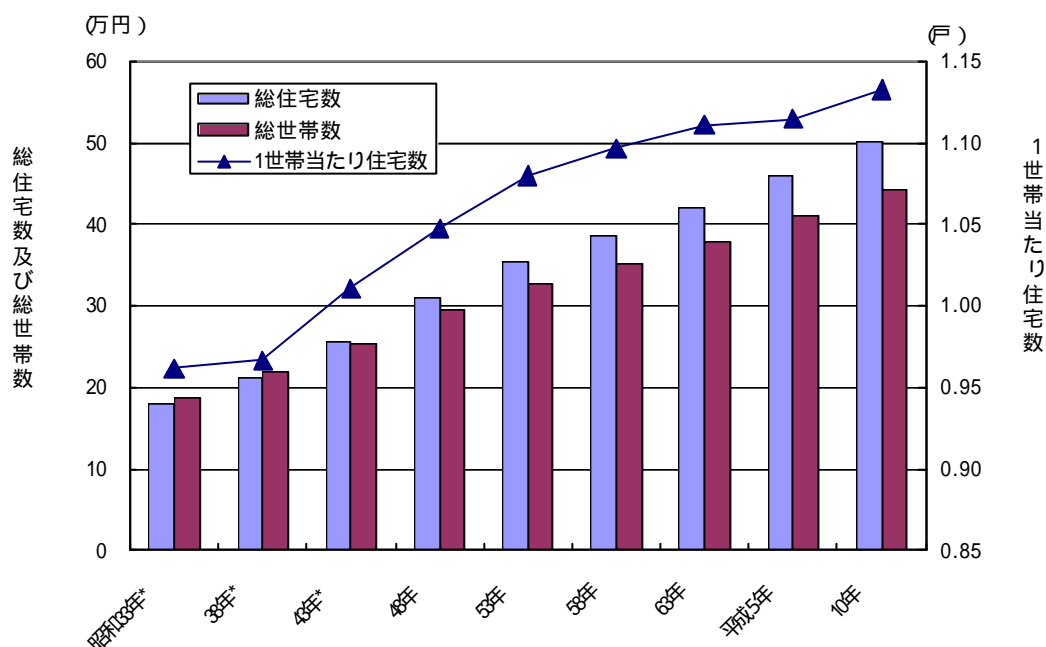
注) *印の数値は，沖縄県を含まない。以下，全表(図も含む)同じ。

総住宅数は総世帯数を589万戸上回る

平成10年10月1日現在の総世帯数は4436万世帯で、平成5年の4116万世帯に比べ、320万世帯(7.8%)増加した。

昭和23年の結果をみると、総世帯数が総住宅数を上回っており、その後も住宅の量的不足は続いていた。しかし、昭和43年にはようやく総住宅数(2559万戸)が総世帯数(2532万世帯)を上回り、48年には総住宅数(3106万戸)と総世帯数(2965万世帯)の差が141万戸と拡大するとともに、地域的にもすべての都道府県で総住宅数が総世帯数を上回った。その後、総住宅数の増加率が総世帯数の増加率を上回っているため、その差は拡大を続け、平成10年には総住宅数(5025万戸)が総世帯数(4436万世帯)を589万戸上回ることになった。これに伴い、1世帯当たりの住宅数は、平成10年には1.13戸と順調に増加している。

図1-1 総住宅数、総世帯数及び1世帯当たり住宅数の推移—全国(昭和33年～平成10年)



1 - 2 居住世帯の有無

居住世帯のある住宅は4392万戸

平成10年の総住宅数を居住世帯の有無別にみると、居住世帯のある住宅は4392万戸で、総住宅数の87.4%を占め、空き家などの居住世帯のない住宅は632万戸、12.6%となっている。

昭和33年以降のそれぞれの増加率をみると、居住世帯のない住宅の増加率は居住世帯のある住宅の増加率を常に上回り、この結果、居住世帯のない住宅の総住宅数に占める割合は、33年には2.8%とわずかだったものが調査のたびに拡大を続け、58年には10.1%と10%を超え、平成5年には11.1%、10年には12.6%と拡大傾向にある。

また、居住世帯のある住宅のうち同居世帯のある住宅は、昭和38年の97万戸をピークに以後大幅な減少が続き、63年にはわずか18万戸となったが、平成5年は20万戸、10年は26万戸と、近年は増加傾向にある。

平成10年の居住世帯のない住宅632万戸の内訳をみると、昼間だけの使用など、ふだん居住している者がいない「一時現在のみの住宅」が39万戸、「空き家」が576万戸、「建築中の住宅」が17万戸となっている。平成5年と比べると、「空き家」は129万戸（28.8%）の増加となっているが、「建築中の住宅」は4万戸（17.3%）の減少、「一時現在のみの住宅」は4万戸（8.2%）の減少となっている。

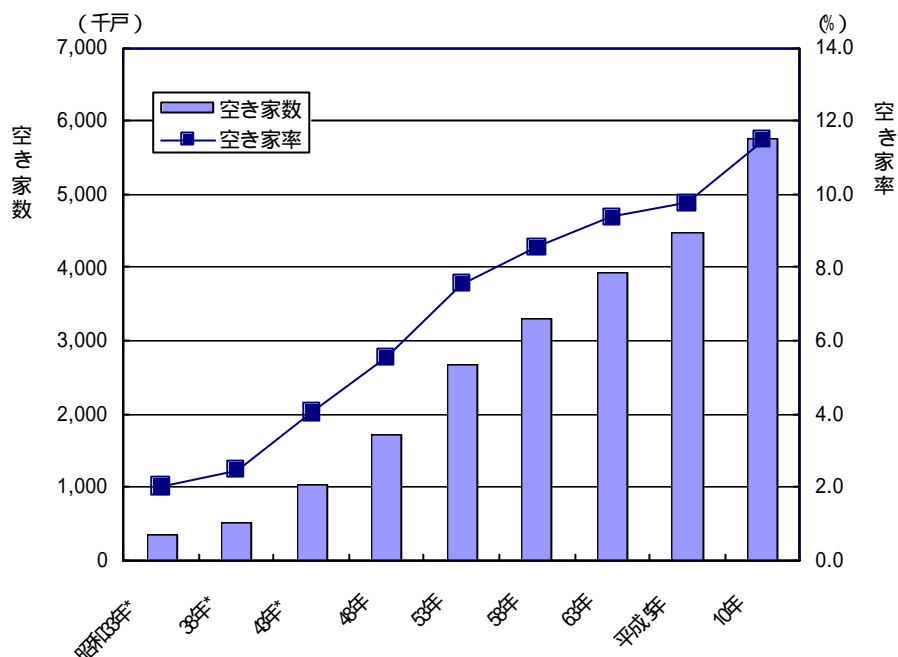
表1-2 居住世帯の有無別住宅数 - 全国（昭和33年～平成10年）

年次	総数	居住世帯あり		居住世帯なし					
		総数	同居世帯あり	総数	一時現在のみの住宅	空き家		建築中	
						賃貸・売却用	二次的住宅		
実数 (1000戸)									
昭和33年*	17,934	17,432	848	503	68	360	75
38年*	21,090	20,372	970	718	75	522	121
43年*	25,591	24,198	641	1,393	186	1,034	173
48年	31,059	28,731	477	2,328	344	1,720	264
53年	35,451	32,189	307	3,262	318	2,679	1,565	137	264
58年	38,607	34,705	196	3,902	447	3,302	1,834	216	154
63年	42,007	37,413	180	4,594	435	3,940	2,336	295	218
平成5年	45,879	40,773	196	5,106	429	4,476	2,619	369	201
10年	50,246	43,922	260	6,324	394	5,764	3,520	419	166
割合 (%)									
昭和33年*	100.0	97.2	4.7	2.8	0.4	2.0	0.4
38年*	100.0	96.6	4.6	3.4	0.4	2.5	0.6
43年*	100.0	94.6	2.5	5.4	0.7	4.0	0.7
48年	100.0	92.5	1.5	7.5	1.1	5.5	0.9
53年	100.0	90.8	0.9	9.2	0.9	7.6	4.4	0.4	0.7
58年	100.0	89.9	0.5	10.1	1.2	8.6	4.8	0.6	0.4
63年	100.0	89.1	0.4	10.9	1.0	9.4	5.6	0.7	0.5
平成5年	100.0	88.9	0.4	11.1	0.9	9.8	5.7	0.8	0.4
10年	100.0	87.4	0.5	12.6	0.8	11.5	7.0	0.8	0.3
増減数 (1000戸)									
昭和33～38年*	3,156	2,940	122	215	7	162	46
38～43年*	4,501	3,826	-329	675	112	512	52
43～48年*	5,219	4,303	-168	916	155	673	88
48～53年	4,392	3,458	-170	933	-25	959	-0
53～58年	3,156	2,516	-111	641	129	623	269	79	-110
58～63年	3,401	2,709	-16	692	-12	639	502	79	65
63～平成5年	3,872	3,360	16	512	-7	535	283	74	-17
平成5～10年	4,367	3,149	65	1,218	-35	1,288	901	50	-35
増減率 (%)									
昭和33～38年*	17.6	16.9	14.4	42.7	9.9	45.0	61.3
38～43年*	21.3	18.8	-33.9	94.1	149.3	98.1	43.0
43～48年*	20.4	17.8	-26.2	65.7	83.1	65.1	50.6
48～53年	14.1	12.0	-35.5	40.1	-7.4	55.7	-0.1
53～58年	8.9	7.8	-36.2	19.6	40.4	23.2	17.2	57.6	-41.8
58～63年	8.8	7.8	-8.0	17.7	-2.6	19.3	27.4	36.4	42.0
63～平成5年	9.2	9.0	8.6	11.1	-1.5	13.6	12.1	25.1	-7.9
平成5～10年	9.5	7.7	33.0	23.9	-8.2	28.8	34.4	13.6	-17.3

総住宅数の1割を超えた空き家

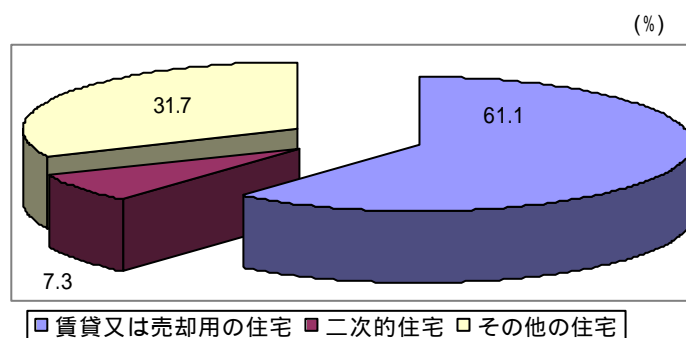
空き家率（総住宅数に占める空き家の割合）は昭和33年以降一貫して上昇を続け、53年には7.6%、58年には8.6%、63年には9.4%、平成5年には9.8%、10年には初めて1割を超え、11.5%となった。

図1-2 空き家数及び空き家率の推移—全国（昭和33年～平成10年）



平成10年の空き家（576万戸）の内訳をみると、賃貸又は売却用の住宅が352万戸（61.1%）で、空き家全体の6割以上を占めており、別荘などの二次的住宅が42万戸（7.3%）、居住世帯が長期にわたって不在の住宅などのその他の住宅が182万戸（31.7%）となっている。

図1-3 空き家の種類別割合 - 全国（平成10年）



1 - 3 むね数

中高層化が進む共同住宅

平成10年の住宅のむね総数は3026万むねで、平成5年の2869万むねに比べ、157万むね（5.5%）の増加となっている。

これを建て方別にみると、一戸建は2732万むねで、むね総数の90.3%、長屋建は81万むね

(2.7%), 共同住宅は 187 万むね (6.2%) となっており, 一戸建が 9 割を占めているが, 平成 5 年と比べると, 共同住宅が 13.2% 増と大幅の増加となっており, 特に「6~10 階」及び「11 階以上」のむねは 30% 以上の増加となっており, 中高層の共同住宅の増加が著しい。

また, 構造別では, 木造が 2700 万むねで, むね総数の 89.2% を占め, 非木造は 326 万むね, 10.8% となっている。

表1-3 建物の建て方 共同住宅の階数, 構造別むね数 全国 (平成 5 年, 10 年)

構 造	総 数	一戸建	長屋建	共 同 住 宅					その他
				総数	1 ~ 2 階	3 ~ 5 階	6 ~ 10 階	11 階以上	
実 数(1000むね)									
平 成 10 年									
総 む ね 数	30,256	27,321	813	1,869	1,169	599	84	17	253
木 造	27,001	25,432	677	767	749	18	-	-	126
非 木 造	3,256	1,889	136	1,103	420	581	84	17	128
平 成 5 年									
総 む ね 数	28,691	25,911	910	1,651	1,068	508	63	13	219
割 合 (%)									
平 成 10 年									
総 む ね 数	100.0	90.3	2.7	6.2	3.9	2.0	0.3	0.1	0.8
増 減 数(1000むね)									
総 む ね 数	1,565	1,410	-97	218	101	91	21	5	34
増 減 率 (%)									
総 む ね 数	5.5	5.4	-10.7	13.2	9.5	17.9	33.3	38.1	15.7

用途別にむね数をみると, 「居住専用建築物」は 2804 万むねで, むね総数の 92.7% を占め, 「店舗等併用建築物」は 214 万むね (7.1%) となっている。

これを建て方別にみると, 一戸建では, 「居住専用建築物」は 2563 万むね (93.8%), 「店舗等併用建築物」は 170 万むね (6.2%), 長屋建では, それぞれ 76 万むね (93.5%), 5 万むね (6.4%) と, いずれも「居住専用建築物」が 9 割以上を占めている。これに対し, 共同住宅では, 「居住専用建築物」が 162 万むね (86.4%) と, その占める割合がやや低く, いわゆる下駄ばき住宅などの「店舗等併用建築物」は 25 万むね (13.4%) と比較的高い割合となっている。

表1-4 建物の建て方, 建物の用途別むね数 - 全国 (平成10年)

建 て 方	実 数 (1000むね)				割 合 (%)			
	総 数	居住専用 建築物	店舗等併用 建築物	その他	総数	居住専用 建築物	店舗等併用 建築物	その他
総 む ね 数	30,256	28,038	2,141	77	100.0	92.7	7.1	0.3
一 戸 建	27,321	25,626	1,695	-	100.0	93.8	6.2	-
長 屋 建	813	760	52	1	100.0	93.5	6.4	0.1
共 同 住 宅	1,869	1,615	250	4	100.0	86.4	13.4	0.2
そ の 他	253	36	144	73	100.0	14.4	57.0	28.6

大型化する共同住宅

平成10年の共同住宅187万むねについて1むね内住宅数別の割合をみると、「5住宅未満」が35.4%で最も多く、以下、「5～9住宅」33.1%、「10～19住宅」18.7%と、これらの3区分で9割近くを占めており、また、1むね当たり住宅数は10.8戸となっている。これを平成5年と比べると、「5住宅未満」11.1%増、「5～9住宅」10.9%増、「10～19住宅」16.2%増、「20～29住宅」19.4%増、「30～39住宅」17.5%増、「40～49住宅」25.8%増、「50～99住宅」30.9%増、「100住宅以上」35.7%増と1むね内住宅数の多いむねの増加率が高く、共同住宅が大型化する傾向がみられる。

また、共同住宅の構造別にみると、木造では、10住宅未満のむね数が88.8%を占め1むね当たり住宅数が5.6戸となっているのに対し、非木造では、10住宅未満のむね数が54.2%、10住宅以上のむね数が45.8%とほぼ二分されており、1むね当たり住宅数についても、14.5戸と木造の約2.6倍になっている。

表1-5 建物の構造，1むね内住宅数別共同住宅のむね数 - 全国(平成10年)

1むね内住宅数	実数(1000むね)			割合(%)		
	総数	木造	非木造	総数	木造	非木造
平成10年 むね数	1,869	767	1,103	100.0	100.0	100.0
5住宅未満	661	394	267	35.4	51.4	24.2
5～9住宅	618	287	331	33.1	37.4	30.0
10～19	350	81	269	18.7	10.5	24.4
20～29	111	5	107	5.9	0.6	9.7
30～39	56	1	55	3.0	0.1	5.0
40～49	34	0	33	1.8	0.0	3.0
50～99	31	0	31	1.7	0.0	2.8
100住宅以上	10	-	10	0.5	-	0.9
1むね当たり住宅数	10.8	5.6	14.5			
平成5年～10年の増減 むね数	増減数(1000むね)			増減率(%)		
	218	14	205	13.2	1.8	22.8
5住宅未満	66	13	53	11.1	3.5	24.5
5～9住宅	61	4	57	10.9	1.3	20.8
10～19	49	-3	51	16.2	-3.1	23.6
20～29	18	-0	18	19.4	-8.2	20.9
30～39	8	-0	9	17.5	-25.0	18.2
40～49	7	0	7	25.8	100.0	25.6
50～99	7	0	7	30.9	-	30.9
100住宅以上	3	-	3	35.7	-	35.7

1 - 4 地域別にみた総住宅数と総世帯数

総住宅数の増加率が最も高い滋賀県

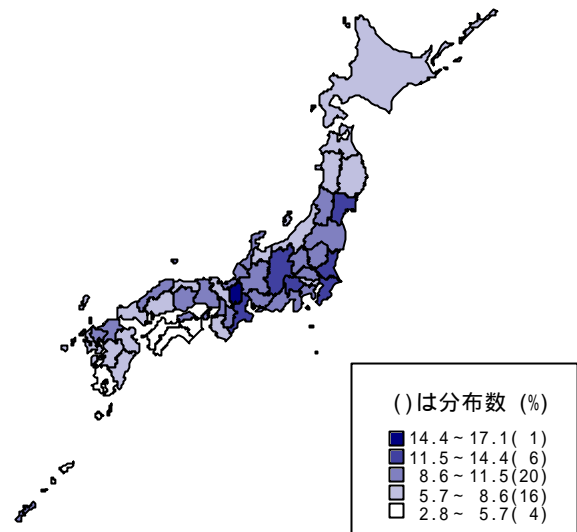
平成10年の総住宅数を都道府県別にみると、東京都が567万戸で最も多く、以下、大阪府、神奈川県、愛知県、埼玉県、北海道、千葉県、兵庫県、福岡県と続いている。逆に、総住宅数が最

も少ない県は鳥取県の 22 万戸で、以下、福井県、島根県、佐賀県、徳島県、高知県と続いており、鳥取県の住宅数は、東京都の約 26 分の 1 となっている。

総住宅数は、平成 5 年～10 年の 5 年間に、すべての都道府県で増加しているが、増加数の最も多いのは、東京都の 37 万戸増で、以下、大阪府（36 万戸増）、神奈川県（34 万戸増）、千葉県（27 万戸増）、愛知県（27 万戸増）、埼玉県（26 万戸増）と続き、これらの 6 都府県が 20 万戸以上の増加となっている。また、増加率では、滋賀県が 17.0% で最も高く、以下、長野県（13.4%）、千葉県（13.3%）が 13% 以上の高い伸びを示している。

1 世帯当たりの住宅数をみると、山梨県及び長野県がともに 1.18 戸で最も多く、以下、和歌山県が 1.17 戸、大阪府、兵庫県及び香川県が 1.16 戸と続き、全国平均（1.13 戸）を上回っているのは 18 府県となっている。

図 1-4 総住宅数の増加率 - 都道府県 (平成 5 年～10 年)



空き家率の高い長野県

空き家率をみると、長野県が 15.3% で最も高く、以下、山梨県（14.8%）、和歌山県（14.5%）、兵庫県（13.5%）、高知県（13.3%）と続き、全国平均（11.5%）を上回っているのは 19 府県となっている。一方、空き家率の低い県は、山形県の 7.1% を最低に、佐賀県（8.2%）、秋田県（9.0%）、新潟県（9.0%）、富山県（9.8%）と続いている。

図 1-5 空き家率 - 都道府県 (平成 10 年)

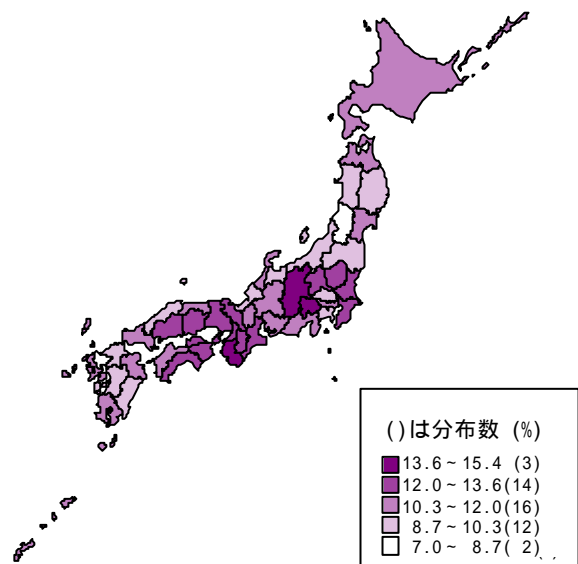


表1-6 総住宅数，総世帯数，1世帯当たり住宅数及び空き家率 - 都道府県 (平成5年，10年)

都道府県	総住宅数 (1000戸)				総世帯数 (1000世帯)	1世帯当たり 住宅数 (戸)	空き家率(%)
	平成10年	平成5年	平成5年～10年の増加				
			増加数	増加率 (%)			
全 国	50,246	45,879	4,367	9.5	44,360	1.13	11.5
北海道	2,433	2,259	175	7.7	2,174	1.12	11.2
青森県	534	499	35	7.0	476	1.12	10.9
岩手県	503	463	39	8.5	452	1.11	10.2
宮城県	886	791	95	12.0	785	1.13	11.1
秋田県	413	383	30	7.8	377	1.10	9.0
山形県	394	361	34	9.3	367	1.08	7.1
福島県	728	668	60	9.0	656	1.11	9.9
茨城県	1,065	949	116	12.2	933	1.14	12.2
栃木県	725	657	68	10.3	634	1.14	12.2
群馬県	756	689	67	9.7	662	1.14	12.2
埼玉県	2,596	2,333	263	11.3	2,335	1.11	9.9
千葉県	2,321	2,049	273	13.3	2,022	1.15	12.7
東京都	5,670	5,300	370	7.0	5,005	1.13	11.0
神奈川県	3,409	3,074	336	10.9	3,061	1.11	10.2
新潟県	844	777	66	8.5	769	1.10	9.0
富山県	379	349	30	8.5	339	1.12	9.8
石川県	441	401	40	10.0	393	1.12	10.8
福井県	275	251	24	9.5	246	1.12	10.2
山梨県	354	314	40	12.8	300	1.18	14.8
長野県	850	750	101	13.4	724	1.18	15.3
岐阜県	741	672	69	10.3	654	1.13	11.4
静岡県	1,388	1,248	140	11.2	1,221	1.14	11.9
愛知県	2,681	2,414	267	11.0	2,365	1.13	11.1
三重県	687	610	77	12.6	600	1.15	12.3
滋賀県	459	392	67	17.0	407	1.13	10.9
京都府	1,111	1,023	88	8.6	972	1.14	12.2
大阪府	3,853	3,498	355	10.1	3,315	1.16	13.0
兵庫県	2,214	2,019	195	9.7	1,908	1.16	13.5
奈良県	526	473	53	11.1	461	1.14	12.2
和歌山県	431	401	31	7.6	367	1.17	14.5
鳥取県	215	201	14	6.8	192	1.12	10.8
島根県	277	254	23	9.1	249	1.11	10.1
岡山県	759	693	67	9.6	660	1.15	13.2
広島県	1,198	1,106	93	8.4	1,043	1.15	13.1
山口県	633	593	40	6.7	563	1.12	11.1
徳島県	320	304	15	5.1	277	1.15	12.8
香川県	405	365	41	11.2	350	1.16	12.3
愛媛県	621	592	29	4.9	548	1.13	11.5
高知県	347	338	10	2.9	302	1.15	13.3
福岡県	2,009	1,839	170	9.3	1,804	1.11	9.9
佐賀県	300	270	30	11.1	276	1.09	8.2
長崎県	586	545	41	7.6	523	1.12	11.0
熊本県	687	641	46	7.2	621	1.11	9.9
大分県	496	458	38	8.2	439	1.13	11.9
宮崎県	474	439	35	8.0	427	1.11	10.2
鹿児島県	782	748	34	4.6	691	1.13	11.4
沖縄県	471	428	42	9.9	417	1.13	11.1

全国平均を上回る京阪神大都市圏の空き家率

京浜葉, 中京及び京阪神の3大都市圏について総住宅数をみると, 京浜葉大都市圏は1440万戸で全国総住宅数の28.7%を占め, 京阪神大都市圏は799万戸(全国総住宅数の15.9%), 中京大都市圏は338万戸(同6.7%)となっている。これら3大都市圏の総住宅数は2577万戸で, 全国の総住宅数の51.3%の住宅がこれらの地域に集中している。

各大都市圏の1世帯当たりの住宅数をみると, 中京大都市圏及び京阪神大都市圏で全国平均の1.13戸を上回っている。

また, 空き家率をみると, 京阪神大都市圏は13.0%で全国平均(11.5%)を上回っているが, 京浜葉大都市圏及び中京大都市圏はともに全国平均を下回っている。

表1-7 総住宅数, 総世帯数, 1世帯当たり住宅数及び空き家率 - 3大都市圏(平成5年, 10年)

3大都市圏	総住宅数(1000戸)				総世帯数 (1000世帯)	1世帯当たり 住宅数(戸)	空き家率(%)
	平成10年	平成5年	平成5年~10年の増加				
			増加数	増加率(%)			
全 国	50,246	45,879	4,367	9.5	44,360	1.13	11.5
3大都市圏	25,773	23,233	2,541	10.9	22,652	1.14	11.7
京浜葉大都市圏	14,404	13,075	1,328	10.2	12,772	1.13	11.0
中京大都市圏	3,376	2,995	381	12.7	2,972	1.14	11.4
京阪神大都市圏	7,993	7,163	831	11.6	6,908	1.16	13.0

周辺部で総住宅数の増加率が高い東京70km圏

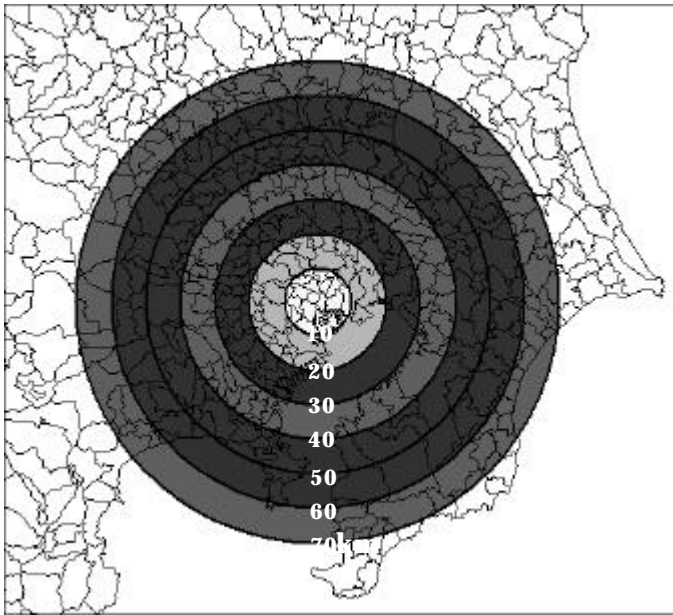
東京70km圏の距離帯別総住宅数の増加率をみると, 20~70kmのそれぞれの距離帯で全国平均(9.5%増)より増加率が高く, とりわけ周辺部の「50~60km帯」が13.2%増と最も高くなっている。一方, 総住宅数の増加率が最も低いのは「0~10km帯」の5.2%増であるが, 「0~10km帯」の距離帯は, 1世帯当たり住宅数及び空き家率が最も高くなっている。

名古屋50km圏の距離帯別総住宅数の増加率をみると, 10~50kmのそれぞれの距離帯で全国平均(9.5%増)より増加率が高く, とりわけ「10~20km帯」が13.9%増と最も高くなっている。一方, 総住宅数の増加率が最も低いのは「0~10km帯」の8.7%増であるが, 「0~10km帯」の距離帯は, 1世帯当たり住宅数及び空き家率が最も高くなっている。

大阪50km圏の距離帯別総住宅数の増加率をみると, 10~50kmのそれぞれの距離帯で全国平均(9.5%増)より増加率が高く, とりわけ「40~50km帯」が12.4%増と最も高くなっている。一方, 総住宅数の増加率が最も低いのは「0~10km帯」の8.7%増であるが, 「0~10km帯」の距離帯は, 1世帯当たり住宅数及び空き家率が最も高くなっている。

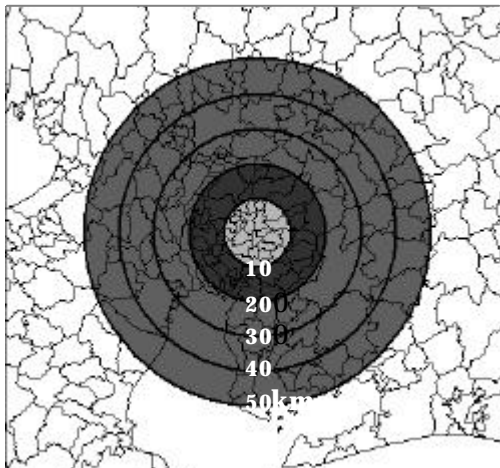
図 1-6 住宅数の増加率 - 距離帯 (平成 10 年)

(1) 旧東京都庁を中心とする 70 ㌾圏



凡例	(%)
0.0 ~ 7.0	0.0 ~ 7.0
7.0 ~ 10.0	7.0 ~ 10.0
10.0 ~ 12.0	10.0 ~ 12.0
12.0 ~ 14.0	12.0 ~ 14.0

(2) 名古屋市役所を中心とする 50 ㌾圏



(3) 大阪市役所を中心とする 50 ㌾圏

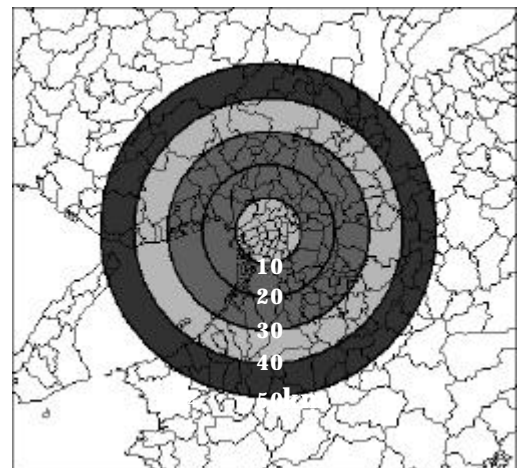


表1-8 総住宅数,総世帯数,1世帯当たり住宅数及び空き家率 - 距離帯 (平成5年,10年)

距離圏	総住宅数 (1000戸)				総世帯数 (1000世帯)	1世帯当たり 住宅数 (戸)	空き家率(%)
	平成10年	平成5年	平成5年~10年の増加				
			増加数	増加率 (%)			
全 国	50,246	45,879	4,367	9.5	44,360	1.13	11.5
東 京 70 キ 口 圏	14,321	13,025	1,297	10.0	12,719	1.13	10.9
0 ~ 10 km	1,737	1,650	86	5.2	1,477	1.18	12.9
10 ~ 20 km	3,942	3,654	288	7.9	3,528	1.12	10.3
20 ~ 30 km	2,917	2,597	320	12.3	2,605	1.12	10.7
30 ~ 40 km	2,653	2,393	260	10.9	2,369	1.12	10.6
40 ~ 50 km	1,744	1,551	193	12.5	1,574	1.11	9.9
50 ~ 60 km	761	672	89	13.2	669	1.14	11.9
60 ~ 70 km	568	507	61	12.0	498	1.14	12.1
名 古 屋 50 キ 口 圏	3,328	2,993	336	11.2	2,934	1.13	11.3
0 ~ 10 km	987	908	79	8.7	853	1.16	12.7
10 ~ 20 km	783	687	96	13.9	700	1.12	10.0
20 ~ 30 km	583	521	62	11.8	524	1.11	9.9
30 ~ 40 km	753	676	78	11.5	660	1.14	12.0
40 ~ 50 km	222	201	22	10.7	198	1.12	10.6
大 阪 50 キ 口 圏	7,038	6,389	649	10.2	6,069	1.16	13.1
0 ~ 10 km	2,102	1,934	168	8.7	1,754	1.20	15.4
10 ~ 20 km	1,591	1,433	159	11.1	1,391	1.14	12.1
20 ~ 30 km	1,054	957	97	10.2	932	1.13	11.2
30 ~ 40 km	1,217	1,110	106	9.6	1,066	1.14	12.2
40 ~ 50 km	1,075	956	119	12.4	927	1.16	13.0